

# 2023年3月期 第2四半期決算説明会 上期実績

2022年11月11日  
副社長 兼 CFO 齊藤 雅也

---

# 2023年3月期第2四半期の概況

## □ 概況

- 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの消費マインドの回復とお客様のニーズに合った商品提案に加え、急激な円安により**大幅増収**
- 利益面でも増収に加え販管費の効率的活用に努めた結果、**全ての利益段階で大幅な増益。売上・各利益段階で第2四半期で過去最高を更新**

## □ 国内市場は大幅な増収増益

- 新製品が好調の「メラノCC」「スキンアクア」「肌ラボ」「ロートV5粒」等が好調持続しコロナ前を上回る増収
- マスク着用習慣により伸び悩んでいたリップクリームも回復傾向に
- 新型コロナウイルス抗原迅速検査キットも増収に寄与
- 天藤製薬(株)、ロートニッテン(株)も売上・利益に貢献

## □ 海外も大幅な増収

- 中国がロックダウンの影響を受けるものの東南アジアがカバーしアジア増収に

# 連結損益

(単位 百万円,%)

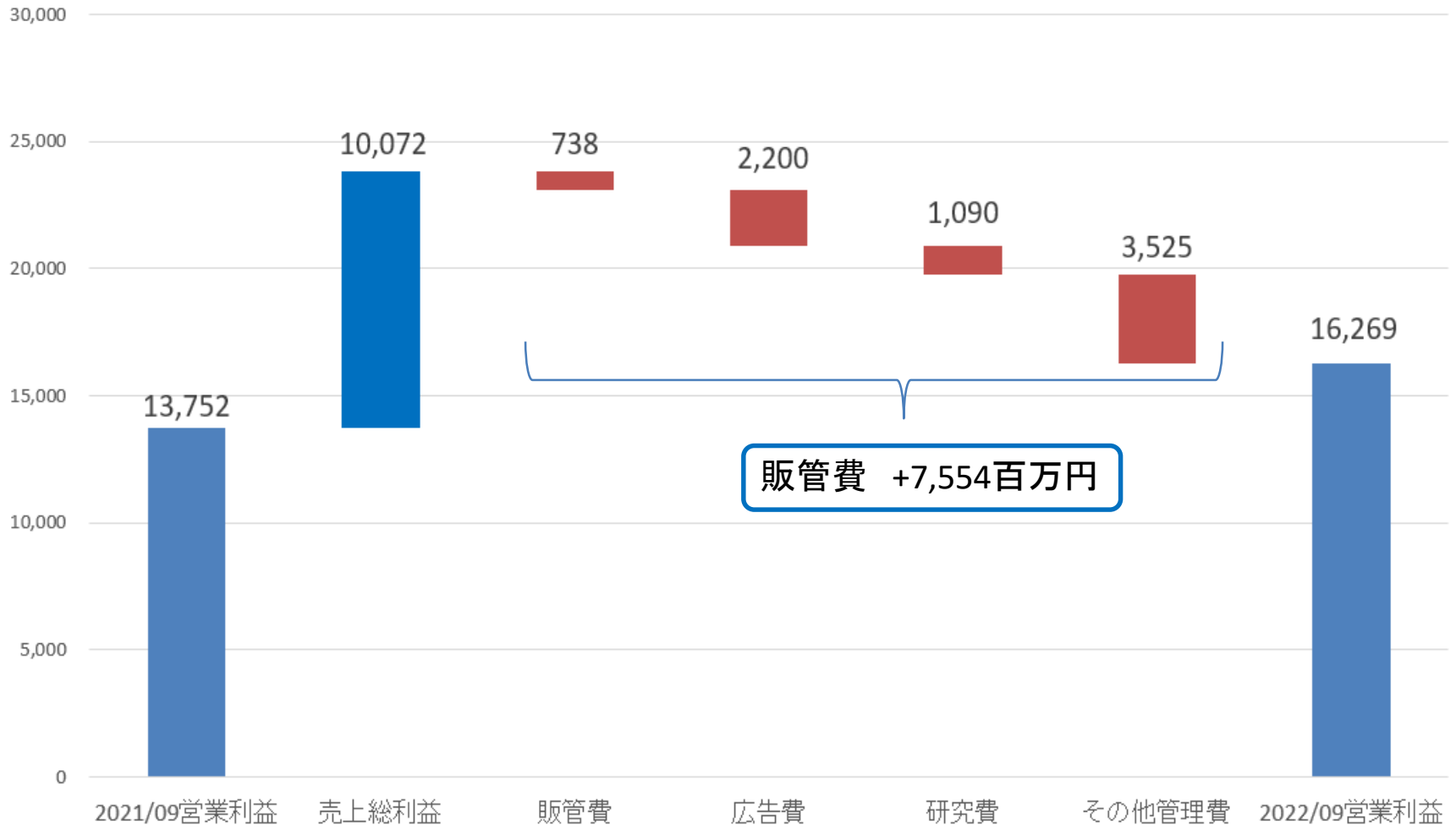
	2023年3月期 第2四半期	売上高比	2022年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	110,313	100.0	91,019	19,294	21.2
売上原価	47,833		38,610	9,222	23.9
原価率	43.4		42.4		
販管費	46,211	41.9	38,656	7,554	19.5
販促費	6,051	5.5	5,313	738	13.9
広告費	12,874	11.7	10,673	2,200	20.6
研究開発費	5,352	4.9	4,262	1,090	25.6
その他	21,931	19.9	18,406	3,525	19.2
営業利益	16,269	14.8	13,752	2,517	18.3
経常利益	17,963	16.3	13,495	4,468	33.1
親会社株主に帰属 する四半期純利益	13,192	12.0	11,022	2,169	19.7

※前期より「収益認識に関する会計基準」を適用

※為替レート：USドル=129.88円（前年同期 109.54円）

# 連結営業利益の増減

(百万円)



# 報告セグメント別売上

(単位:百万円、未満切捨,%)

		2021年9月期		2022年9月期			
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		91,019	100.0	<b>110,313</b>	100.0	19,294	21.2
報告セグメント	日本	56,901	62.5	<b>65,576</b>	59.5	8,675	<b>15.2</b>
	アジア	24,057	26.4	<b>29,673</b>	26.9	5,616	<b>23.3</b>
	アメリカ	4,026	4.4	<b>7,649</b>	6.9	3,623	<b>90.0</b>
	ヨーロッパ	5,070	5.6	<b>6,231</b>	5.7	1,161	<b>22.9</b>
	計	90,054	98.9	<b>109,131</b>	98.9	19,076	21.2
その他		964	1.1	<b>1,182</b>	1.1	217	22.6
為替レート (USドル/円)		109円54銭		129円88銭			

※ 売上高は外部顧客に対するものです  
 ※前期より「収益認識に関する会計基準」を適用

# 報告セグメント別営業利益

(単位:百万円、未満切捨、%)

		2021年9月期		2022年9月期			
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
営業利益		13,752	100.0	16,269	100.0	2,517	18.3
報告セグメント	日本	9,339	67.9	10,428	64.1	1,089	11.7
	アジア	3,596	26.2	4,965	30.5	1,368	38.1
	アメリカ	147	1.1	96	0.6	△50	△34.6
	ヨーロッパ	385	2.8	596	3.7	210	54.7
	計	13,468		16,087		2,618	
その他		81	0.6	125	0.8	43	53.5
調整額		201	1.4	56	0.3	△144	—
為替レート (USドル/円)		109円54銭		129円88銭			

※前期より「収益認識に関する会計基準」を適用

# 日本 大幅な増収増益

売上高	655億76百万円	前年同期比	15.2%増
営業利益	104億28百万円	同	11.7%増

- 消費マインドの回復に加え、お客様のニーズに合った商品提案により増収
- 全ての製品カテゴリーで増収
- 「メラノCC」、日やけ止め、「肌ラボ」「ロートV5粒」等、好調持続しコロナ前を上回る増収
- マスク着用習慣により伸び悩んでいたリップクリームも回復傾向
- 新型コロナウイルス抗原迅速検査キットも増収に寄与
- 天藤製薬(株)、ロートニッテン(株)も売上・利益に貢献

今年3月には自社ECサイトを立ち上げた天藤製薬(株)



- 増収に加え原価率の改善により大幅増益

# 好調持続の商品群

## □コロナ前の売上をも上回る商品

- 肌ラボ 6,508百万円(対前15.6%増)
- メラノCC 5,198百万円(対前45.6%増)
- 日やけ止め 3,413百万円(対前39.6%増)
- ロートV5粒 2,464百万円(対前38.0%増)



高額目薬と連動した  
店頭展開で好調持続



好調な肌ラボ白潤プレミアムと  
極潤エイジングケア

メラノCCは  
ドラッグストアで最も売れている  
美容液に(個数ベース)



なりたいた肌色に合わせて選べる  
「スキンケア トーンアップエッセンス」



# インバウンド需要低迷も越境ECが堅調

インバウンド&越境EC売上 約11.0億円(前期比 0.2億円増)



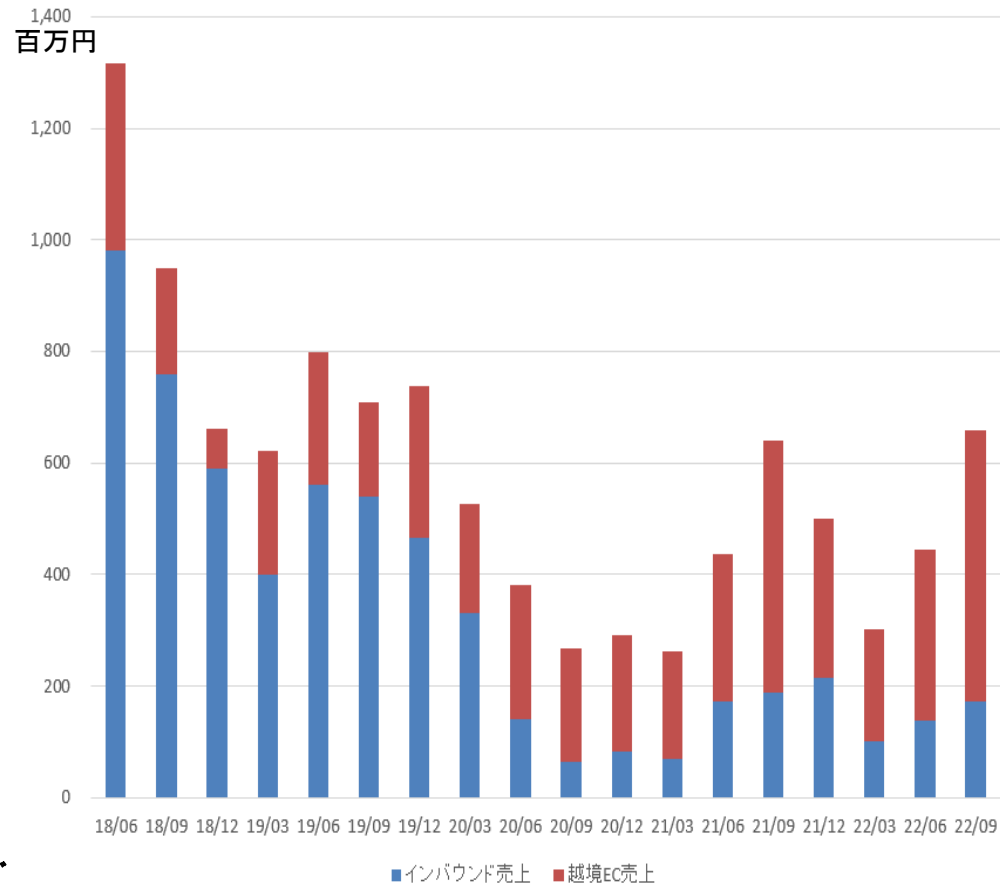
圧倒的人気のマノCC シリーズ



エプステム ステムサイエンス  
 ストリンク



目薬やコンタクトレンズ  
 洗浄液も人気



インバウンド関連四半期売上の推移

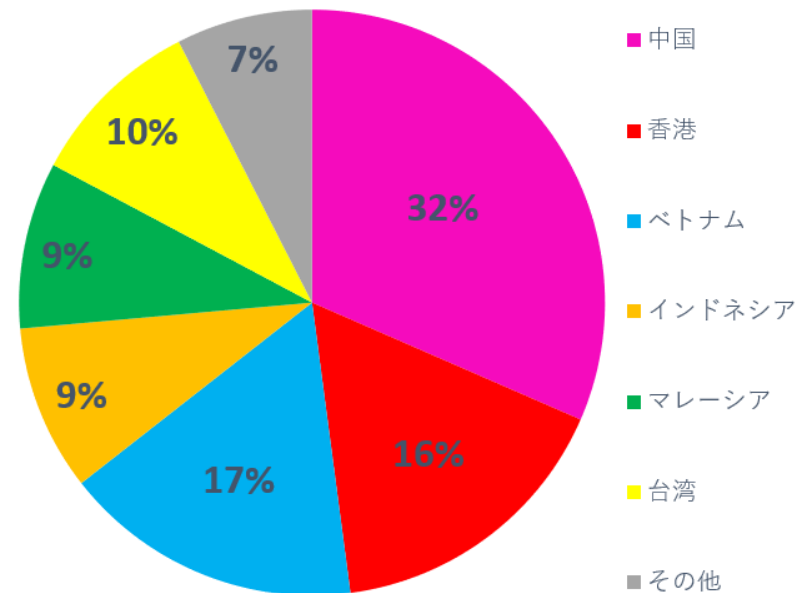
# アジア 大幅な増収増益

売上高	296億73百万円	前年同期比	23.3%増
営業利益	49億65百万円	同	38.1%増

- ロックダウンの影響を受けた中国は為替の影響により増収
- 台湾はコロナからの経済回復で増収
- マレーシアが高成長
- 各国の売上 (前期比、現地通貨比較)

□ 中国	1.9%減収	12月決算
□ 香港	15.6%増収	2月決算
□ ベトナム	9.5%増収	12月決算
□ インドネシア	14.9%増収	12月決算
□ マレーシア	32.0%増収	2月決算
□ 台湾	11.5%増収	2月決算

アジアの売上構成比  
(円ベース)



# アジア 大幅な増収増益

□ 中国市場悪化の影響はあるものの全主力ブランドが好調に推移

□ 目薬	5,950百万円	対前同期比	21.2%増
□ アクネス	3,076百万円	対前同期比	11.5%増
□ 男性用化粧品	3,106百万円	対前同期比	22.4%増
□ ハダラボ	4,150百万円	対前同期比	18.1%増
□ 日焼け止め	4,379百万円	対前同期比	7.5%増
□ リップ	940百万円	対前同期比	221.6%増
□ 50の恵	1,789百万円	対前同期比	48.9%増



香港で最も大きいブランドに成長した「50Megumi」  
 人気女優シャリーン・チョイを起用し、ヘアケアカテゴリーでNO1売上を記録

若者向け男性化粧品はTIKTOKを活用

# アメリカ 増収減益

売上高	76億49百万円	前年同期比	90.0%増
営業利益	96 百万円	同	34.6%減

- 消費マインドの回復
- 2021年11月より連結したハイドロックス・ラボラトリーズ社が  
増収に大きく貢献
- 原材料の調達コストや人手不足による労務費上昇に加え、  
ハイドロックス・ラボラトリーズ社の顧客関連資産やのれん  
等償却の影響により減益

新発売の目薬  
 Rohto Optic Glow



# ヨーロッパ 大幅な増収増益

売上高	62億31百万円	前年同期比	22.9%増
営業利益	5億96百万円	同	54.7%増

- 消費マインドの回復
- Deep Heatを中心とした外用消炎鎮痛薬が好調
- Hadalabo Tokyoが英国市場から中東主要国へ展開を開始し好調に推移
- 2021年5月発売のCEマーク点眼薬「ロートドライエド」で目薬市場の開拓を推進中
- エネルギーコストや原材料の調達コストが上昇したものの、販売管理費の効率的活用により大幅な増益



人気の  
Deep Heat

Hadalabo Tokyo  
も好調



# 2023年3月期 第2四半期決算説明会 通期見通しと持続的成長への取り組み

2022年11月11日  
代表取締役社長 杉本 雅史

---

# ポイント

- 通期業績予想を上方修正
- 大幅増収で過去最高益更新へ
  - 各地域とも増収
  - 日本は増収減益
    - 下期も主要ブランドは好調を持続予定
    - 原材料やエネルギーの高騰などにより原価率の悪化が進行
    - クオリテックファーマが人手不足により減収減益に
    - 下期は天藤製薬の連結による増収効果が一巡
    - 上野テクノセンター新棟稼働による減価償却が始まる
  - 海外は増収増益
    - 円安進行による為替換算の影響大
    - アジアは東南アジアが好調を持続
- 株式分割の実施
- 19期連続増配予定

# 通期業績見通しを上方修正

(単位: 百万円、未満切捨,%)

	2022年3月期		2023年3月期修正予想				2023年3月期8/9予想	
	金額	構成比	金額	構成比	対前増減額	対前増減率	金額	増減額
売上高	199,646	100.0	230,000	100.0	30,353	15.2	225,000	5,000
営業利益	29,015	14.5%	31,000	13.5	1,984	6.8	30,000	1,000
経常利益	28,750	14.4%	32,000	13.9	3,249	11.3	31,000	1,000
親会社株主に帰属する当期純利益	21,127	10.6%	22,000	9.6	872	4.1	21,500	500
1株当たり 当期純利益(円)	185.22		96.43				188.48	

為替レート  
 USD/円

111.55円

135円

125円



# 報告セグメント別売上予想

(単位: 百万円、未満切捨, %)

		2022年3月期		2023年3月期修正予想			2023年3月期8/9発表予想		
		金額	構成比	金額	構成比	対前増減額	対前増減率	金額	増減額
売上高		199,646	100.0	230,000	100.0	30,353	15.2	225,000	5,000
報告セグメント	日本	121,417	60.8	130,800	56.9	9,382	7.7	130,000	800
	アジア	55,988	28.0	69,000	30.0	13,011	23.2	65,500	3,500
	アメリカ	10,037	5.0	16,500	7.2	6,462	64.4	16,000	500
	ヨーロッパ	10,297	5.2	11,700	5.1	1,402	13.6	11,500	200
	計	197,740		228,000		30,259		223,000	
その他		1,906	1.0	2,000	0.9	93	4.9	2,000	0
為替レート (USドル/円)		111円55銭		135円			125円		

※ 売上高は外部顧客に対するものです

# 報告セグメント別営業利益予想

(単位:百万円、未満切捨,%)

		2022年3月期		2023年3月期修正予想				2023年3月期8/9発表予想	
		金額	構成比	金額	構成比	対前増減額	対前増減率	金額	増減額
営業利益		29,015	100.0	31,000	100.0	1,984	6.8	30,000	1000
報告セグメント	日本	19,213	66.2	18,900	61.0	△ 314	△ 1.6	18,700	200
	アジア	8,365	28.8	10,000	32.3	1,634	19.5	9,300	700
	アメリカ	216	0.7	600	1.9	383	177.2	600	0
	ヨーロッパ	563	1.9	800	2.6	236	42.0	700	100
	計	28,359		30,300		1,940		29,300	
その他		171	0.6	200	0.6	28	16.6	200	0
調整額		484	1.7	500	1.6	15	3.1	500	0
為替レート (USドル/円)		111円55銭		135円				125円	

# 日本 中長期の持続的成長に向けて先行投資

# Vision2030 ～Connect for Well-being～

## □ OTCリーディングカンパニー へ進化

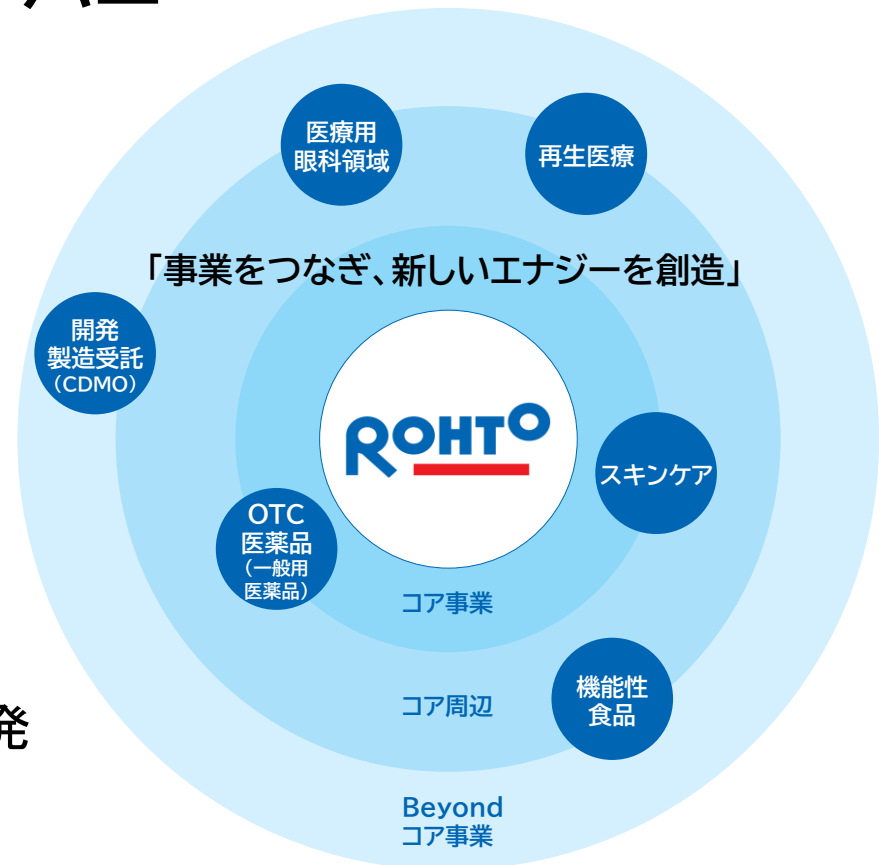
- スキンケア領域
- 機能性食品

## □ 医療用医薬品

- 再生医療
- 眼科領域

新薬開発・医療機器開発

## □ 開発製造受託 (CDMO)



# グローバル事業拡大に向けて 製造設備の増強①

## □ 上野テクノセンター内に2022年9月スマート工場竣工

□ 投資額85億円。生産能力従来の1.5倍に

□ 人に優しい工場

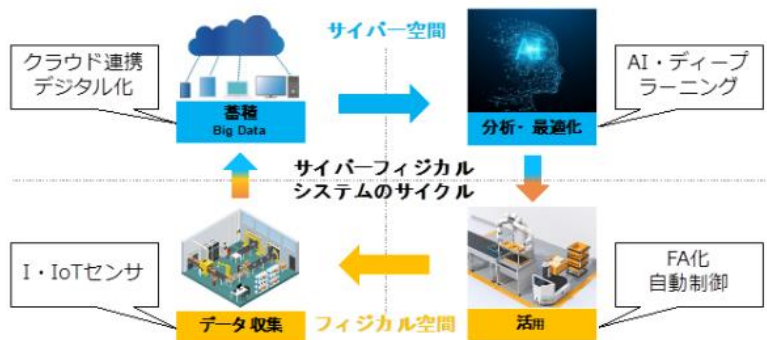
□ ロボットと人の協業による働く人の安全の確保と効率化

□ I・IoTやAIを活用したサイバーフィジカルシステムを実装し生産性向上を実現

□ 環境にやさしい工場

□ 地中熱、太陽光など再生可能エネルギーの活用、省エネ機器の導入  
エネルギー消費量を**既存工場の20%削減**を目指す

□ 国内外への生産拠点

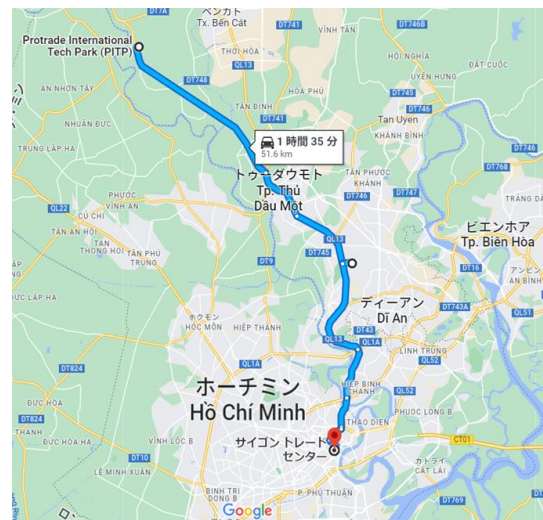


# グローバル事業拡大に向けて 製造設備の増強②

- ロートメンソレータムベトナム社によるナリスコスメティックスベトナム社の買収
  - ベトナム・ASEAN地域の中長期の持続的成長を実現することを目指す
  - ベトナム・ASEAN地域で増加するロートグループの化粧品需要に対応
    - 取得価格 非開示(「秘密保持に関する誓約書」による)
    - ベトナム ビンズオン省
    - 敷地面積 約20,000m<sup>2</sup>、建屋面積(工場棟) 約5,300m<sup>2</sup>
    - 取得持分割合 : 100%
    - 持分譲渡 2022年末完了予定



ナリスベトナム工場



同じ国道沿いで移動・物流に便利

# 積極的な研究開発



# 再生医療・医療用眼科治療薬の進捗

---

## □再生医療

### □重症下肢虚血

□琉球大学主導

□非臨床から2022年6月フェーズ1へ進展

## □医療用眼科治療薬

### □近視進行抑制を目指した薬剤 ROH-001

□製剤設計終了

□坪田ラボへマイルストーン達成の成功報酬3億円支払い済

□台湾、ベトナム、インドネシアに関する契約も締結済



# 再生医療の進捗

再生医療パイプライン一覧 (2022年10月時点)

領域	細胞種	コード	予定適応症等	予定地域	連携先	ステージ					目標 <sup>※1</sup>
						非臨床	P1	P2	P3	申請	
再生 医療	ヒト脂肪由来 幹細胞	ADR-001	肝硬変	日本	塩野義製薬(株)	▶					▶2022年度 治験終了
		ADR-002K	重症心不全	日本		▶					▶2022年度 治験終了
		ADR-001	腎疾患	日本		▶					▶2022年度 治験終了
		ADR-001	重症下肢虚血	日本		▶					▶2024年度 治験終了
		ADR-001	肺線維症	日本		▶					▶2023年度 治験終了
		ADR-001	新型コロナ肺炎	日本		▶					▶2022年度 治験終了
	ヒト臍帯由来 幹細胞	UVI-001	神経変性疾患	日本		▶					▶2023年度 治験終了
	軟骨細胞 キット <sup>※2</sup>		外傷性軟骨欠損	日本		▶					▶2022年度 治験終了
			変形性関節症	日本		▶					▶2024年度 治験終了

※1:目標は連携先との合意ではない当社の目標 ※2:インターステム社(当社子会社)

# 医療用眼科治療薬の進捗

医療用眼科領域パイプライン一覧 (2022年10月時点)

領域	コード	予定適応症等	予定地域	連携先	ステージ					目標 <sup>※1</sup>
					非臨床	P1	P2	P3	申請	
医療用 眼科	ROH-101	CMV <sup>※2</sup> 角膜内皮炎	日本	Théa、(株)エムズ サイエンス						▶2025年 承認
	ROH-201	ドライアイ <sup>※3</sup>	日本	日本たばこ 産業(株)						▶2027年 承認
	ROH-202	眼科用治療剤	日本	(株)デ・ウエスタン・セ ラピテクス研究所						—
	ROH-001	近視進行抑制	日本	(株)坪田ラボ						—

※1:目標は連携先との合意ではない当社の目標 ※2:サイトメガロウイルス ※3:シェーグレン症候群患者を含めたドライアイ患者

# 培地ビジネスと幹細胞の受託

---

## □ 培地ビジネス

### □ 中国 海南島国家ハイテクゾーンに合弁会社設立

- 中国のバイオテクノロジー企業「華熙生物海南有限公司」、株式会社バイオミメティクスシンパシーズなど複数企業と共同設立
- ロートの間葉系幹細胞専用無血清AOF培地を用いた開発・製造・販売

## □ 再生医療 × CDMO

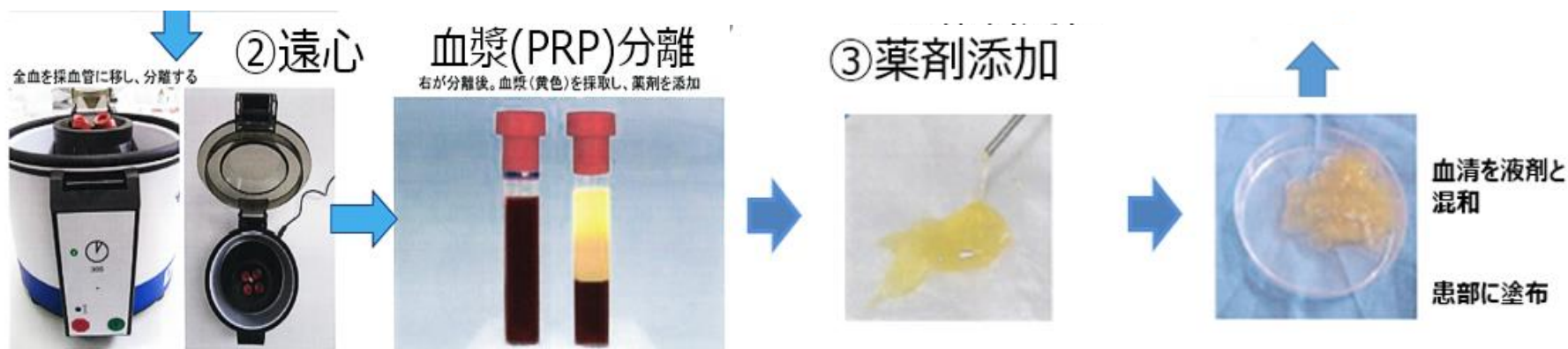
- リサーチビルディング京都にセルファクトリー京都(細胞製造工場)を設立
  - 2022年2月ヒューマンライフコード(株)と臍帯由来間葉系幹細胞の製造受託を締結
  - 2022年1月医療機関からの細胞培養加工受託業務を開始
    - インターステム(株)は自家培養軟骨細胞、脂肪由来幹細胞の受託加工
    - ロートは完全無血清培地による幹細胞の受託
-

# 創傷治療システム「オートロジェル システム」 申請状況

## □ 自己多血小板血漿 (PRP) 療法による創傷治療システム

①採血

④投与



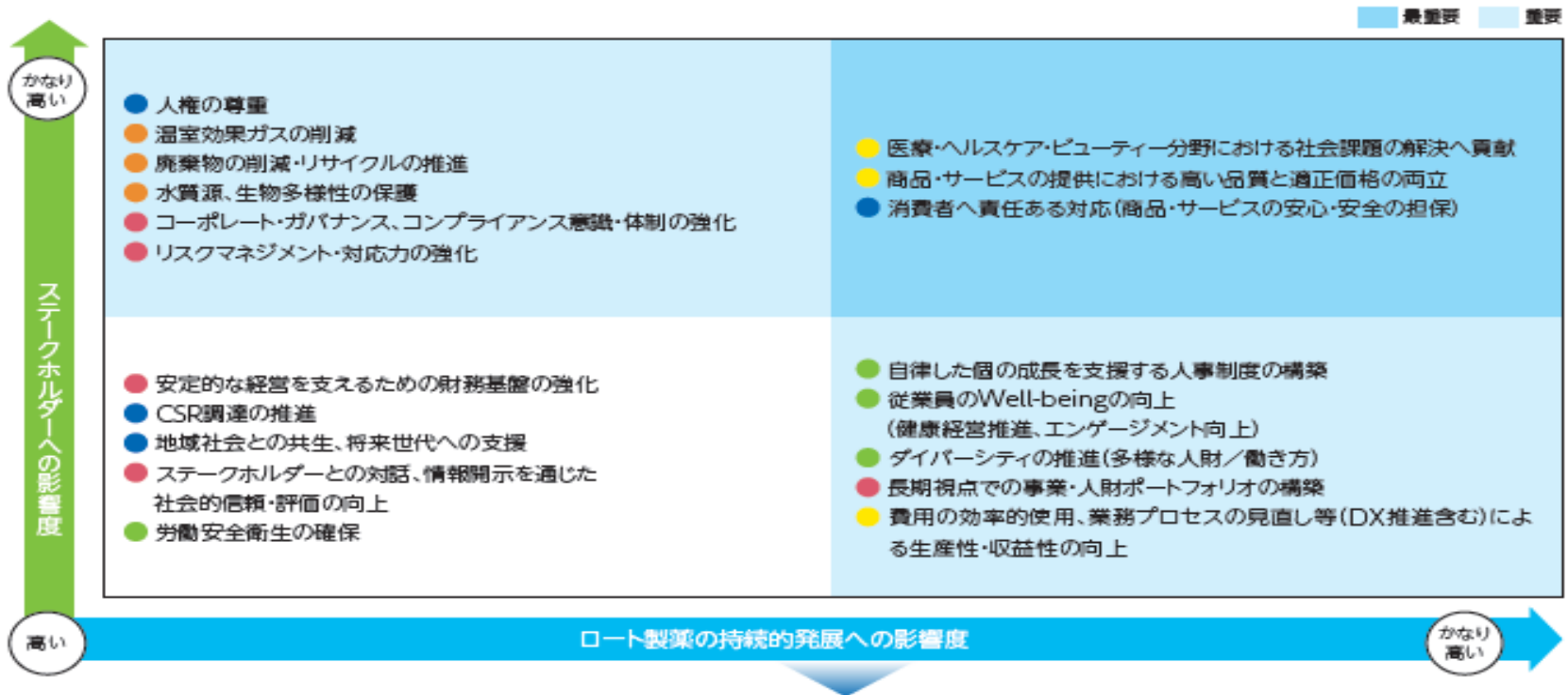
様々な成長因子やサイトカインが創傷治療に有効

□ 現在、承認申請中

# ESG/SDGsの進捗

## □ 5つのマテリアリティの特定と各種方針の策定

### マテリアリティ・マトリックス



### 5つのマテリアリティ

- 1 事業を通じたWell-beingの実現
- 2 企業価値向上に向けた人的資本の最大化
- 3 持続可能な地球環境への貢献
- 4 社会との共生
- 5 さらなる経営基盤強化

# 人事制度・報酬制度の進化

「成長と分配の両軸」の思想にも則り、従業員個々人の成長を促すとともに賃上げを想定した制度改定(2022年10月~)

## □ プロの仕事人への成長を促す

- 業務だけでなく人として成長を続け、より社会へ貢献できる人材に育っていくことがロートで求める人材要件としている

## □ 仕事の価値／貢献に応じた報酬の設計

- 年功要素の残る部分、役割や貢献に直接関係の無い手当等を見直し
- 職種や職務毎の市場価格も参考に報酬水準を設計

## □ 雇用形態間の報酬格差の是正

- 旧契約社員だった社員の処遇改善(退職金制度導入など)



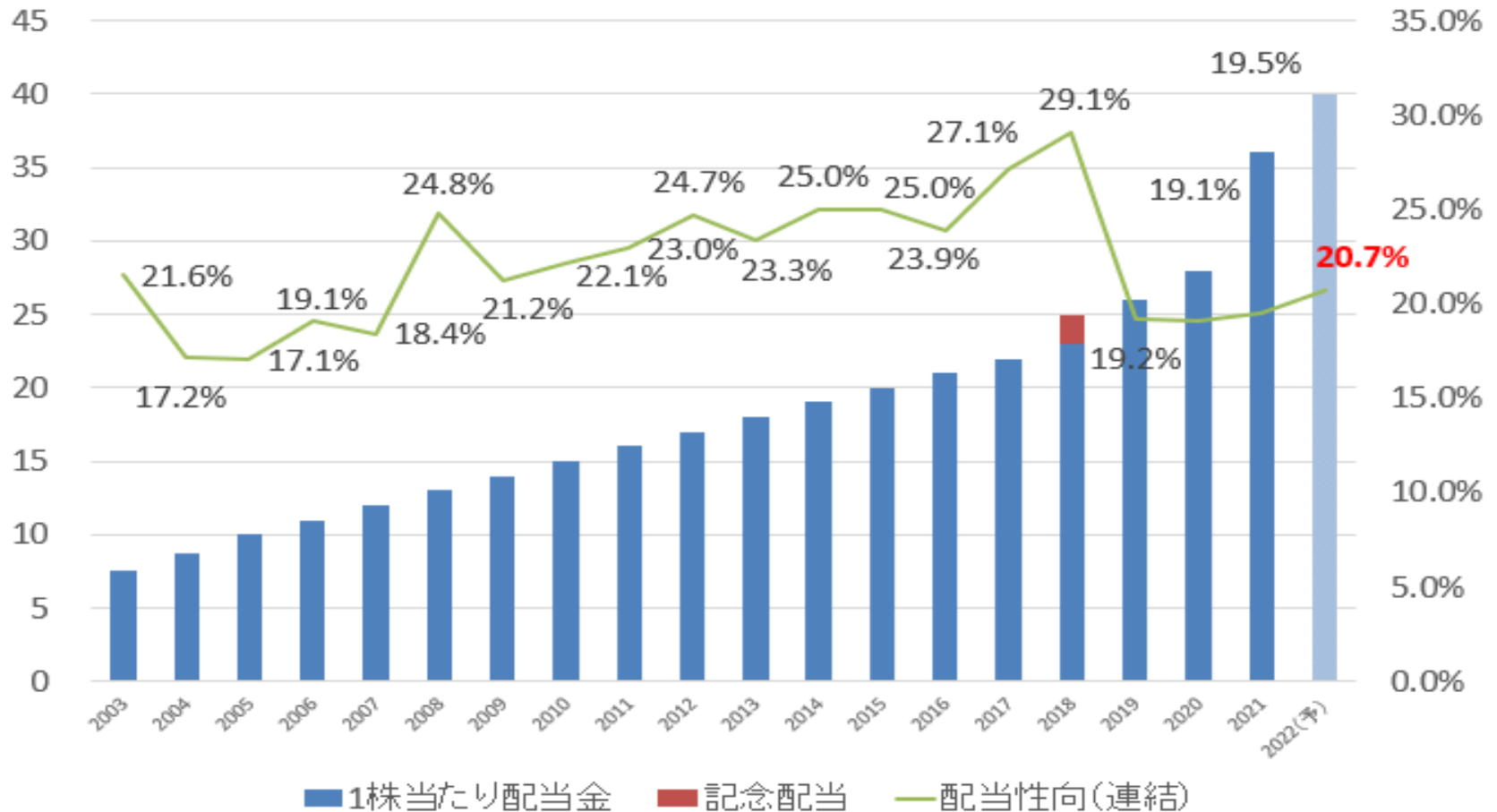
ロートで働く仲間の自律を支援する人事制度、  
ならびに生活の安心・安定に資する報酬制度へより進化

# 株式分割の実施

- 投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図る
- 分割の方法：普通株式1株につき、2株の割合で分割
- 分割の日程
  - 基準日公告日：2022年12月12日（月曜日）
  - 基準日：2022年12月31日（土曜日）
  - 効力発生日：2023年1月1日（日曜日）
- 分割により増加する株式数
  - 株式分割前の発行済株式総数：118,089,155株
  - 株式分割後の発行済株式総数：236,178,310株
- 今回の株式分割に際して資本金の増加はありません

# 19期連続増配予定

□ 中間配当20円、期末配当 株式分割により10円



※2022(予)は株式分割前換算の数値です。



- 
- 本資料は、投資判断の参考として、弊社の現状を理解して頂くために作成したものです。
  - 本資料に記載された内容は、作成時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
  - 本資料には、医薬品等（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、これらは宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。
  - 投資を行う際は、ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。
  - 本資料を利用することにより生じた、いかなるトラブルおよび損失、損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
-